

町政座談会を開催

7月、町内5つの会場で町政座談会を開催しました。町民の皆さんからの質問・意見と、町の回答の一部を紹介します(Q:質問、A:回答)。
※各会場での質問・意見、回答は、町ホームページでご確認ください。



町ホームページ

- 【内容】**
町から情報提供
①最優先課題・重点施策
②5つの政策分野ごとの施策等
※町長による施策説明はYouTubeでご覧いただけます。



YouTube
飯南町チャンネル

※学校・家庭・地域が協働して学校運営に参画し、子どもの成長を支える仕組み

子育て・教育・文化
Q 中学校統合を早く進めてほしい。少人数での教育活動には限界があり、子どもたちも大人数での学習が楽しいと話している。

A 教育環境基本計画でも、中学校は統合の方向性を出している。どこに中学校を設置するのかなど検討課題があり、慎重に進めている。

Q 小学校の児童数が減少し、危機感を感じる。飯南町ならではの教育を行うというが、具体的にどのような教育を考えているのか。

A 仮に小学校を町内1校に統合しても、小規模校に変わりない。保育所から高校までが連携する「保小中高一貫教育」や、コミュニティスクール(※)による、学校・家庭・地域が連携した教育を強みと捉え、継続していきたい。

Q 順原に設置する「こども広場」は民家から遠く、利用は土日限定されるのでは。こども広場の利用者が増えるような取組を考えてほしい。

A 平日は公共交通を利用してこども広場に行くなど、子どもたちが利用しやすい方法を検討している。多くの方に利用してもらえるようにしていきたい。

産業振興

Q 現在の宿泊施設は定休日があり不便だという声を聞く。観光宿泊施設を町内2カ所にする計画だが、休日が無いように運営してほしい。

A 皆様の意見や宿泊客のニーズも把握しながら進めていく。

Q 水道料金の値上げは仕方ないと理解するが、観光事業などの予算を縮小し、水道事業に使えないか。スキー場など観光事業は利用料金を値上げするなど利用者に負担してもらう工夫もしては。

A 観光事業の経済効果も数年前に調査している。スキー場に限らず、観光施設の入園料等も値上げなど実施している。

保健・医療・介護・福祉

Q 来島診療所横の「あじさい薬局」の再開の見通しはあるのか。

A 運営会社では、薬剤師確保後の営業再開に向け、現在人材を探している。

Q 新しい特別養護老人ホームの建設が進んでいるが、現在入所できる人数は130床であるのに比べ、新たな施設は70床。施設に入れない人が出てくるのではと不安が募る。

A 人口あたりの床数や、人口動態を参考に算出した床数であり、将来的には十分対応できると見込んでいる。

定住・生活・防災・自然環境

Q 水道料金の値上げは仕方ないが、一律ではなく、世帯人数や使用量、高齢者世帯へ配慮した料金設定をしてはどうか。

A 世帯人数や使用量による減額等は、検討委員会でも十分議論した。財政状況等も考慮し、今回の改定では一律料金とした。

Q 町内各所に空き家があり、空き家バンクに登録されていてもすぐに住める状態でない物件もある。景観・防災の面からも空き家対策を考えてもらいたい。

A 昨年度空き家調査を実施。すぐに住める空き家の数などデータを活用していく。空き家は個人の所有であり、所有者とも相談しながら対策を進めていきたい。

Q 全国的に子どもの数が少なく、取り合いになっている状況。即戦力となる早期退職者や中年のU・Iターンを促進し、地域で働いてもらうのはどうか。

A 子育て世代への支援策は充実しているが、財政的な状況から、全ての世代に対して支援策を行うのは難しい。定住施策については、今後も検討していきたい。

自治・行政運営

Q 「地域協力活動×ITリスクリン」が地域で活動できているのか。せっかく来てくれた若者が定住につながるよう行政のフォローが必要。

A 「地域協力活動×ITリスクリン」が協力隊は町の会計年度任用職員ではなく、民間事業者の採用となる協力隊。現在農業法人等へのヒアリングなどをしており、地域に定着できるように支援していく。

Q 公式LINE、HPなど町からの情報提供が遅い。熊の出没情報などすぐに発信してほしい。

A 緊急情報は迅速にお知らせできるように体制を考えたい。各課によって提供される情報にもばらつきがあるため、統一できるように検討していく。

